



府中国際交流サロン
FUCHU INTERNATIONAL SALON

くろするろ〜ど

2026/4月号 第312号

かいほうし
会報誌

★★★★crossroad★★★★★★★★crossroad★★★★



★★★★crossroad★★★★★★★★crossroad★★★★

〜サロン月間カレンダー4月〜

「日本語教授法研修会開催」

■日本語学習会

日時：4月6日(月)～4月27日(月)
※29日(水)は祝日で休みです。
場所：会議室または学習室ほか

■実行委員会

日時：4月8日(水)午前10時～12時
場所：第1会議室

■日本語教授法研修会参加者募集

日時：4月1日(水)付けの市広報にて募集
*詳しくは、右欄の「日本語教授法研修会開催」をご覧ください。

■文化交流部会

4月の活動は休みます。

■フチュール休館日

4月5日(日)・16日(木)は全館が休みです。

*以上の件について、詳しいことはサロン事務局で聞いてください。



府中国際交流サロンは、府中に住む日本人と外国人が、仲良く助け合っただの楽しく生活していくことを願って、活動を続けています。

昨年^{こぞ}に続き、今年^{ことし}も日本語教授法研修会^{にほんごきょうじゅほうけんしゅうかい}を下記の要領^{ようりょう}で開催し、府中国際交流サロン^{ふちゅうこくさいこうりゅう}でボランティア活動^{かつどう}をしていただける方々^{かたがた}を募集^{ぼしゅう}します。

これまで山田^{やまだ}しげみ先生^{せんせい}に講師^{こうし}を担当^{たんとう}していただきましたがこの度^{たび}退任^{たいにん}されることになり、今期^{こんき}から藤森^{ふじもり}ひろこ先生^{せんせい}（東京外国語大学^{とうきょうがいこくごだいがく}名誉教授^{めいよきょうじゅ}）に代わりことになりました。2019年^{ねん}から合計^{ごうけい}5回^{かい}にわたり講師^{こうし}を務めていただきました山田先生^{やまだせんせい}にはこの誌面^{しめん}を借りて厚くお礼^{あつれい}を申しあげます。

～記～

日時：5月7日～7月23日、9月3日～12月3日の毎週木曜日 午後2時～4時
(11月19・26日を除く全24回)

場所：フチュール 学習室

対象：研修終了後、サロンの日本語学習会でボランティアとして活動できる18歳以上の市民

募集人数：20名(4月1日付けの市広報にて募集)

参加費：5,000円(別途前期テキスト代が2,500円)

内容：『みんなの日本語』初級I・IIを通して日本語指導の基礎を学ぶ

講師：藤森ひろこ先生(東京外国語大学名誉教授)

申込み：4月7日(火)までオンラインで受け付け

*尚、現ボランティアも参加費無料で聴講ができます。人数は5名まで。申込みは事務局まで。

(研修部会)

世界の文化

「日本語の曖昧さと空気を読む力」

「日本語学習発表会の原稿を紹介」

2025年12月6日(土)に、日本語学習発表会がありました。そこで発表された内容を随時、紹介します。



「ハルビンのこと」

楊桂華 (中国)



みなさんこんにちは。わたしは楊桂華です。中国のハルビンからきました。2023年の3月にきました。ハルビンは中国の東北にあります。ハルビンには、姉と、弟がいます。

ハルビンは、うつくしい街です。ハルビンの夏は、あついです。日本はとても、せいけつで便利な国ですが、日本の夏の方があついです。

ハルビンの太陽島公園は観光地です。花や草がきれいです。

ハルビンの冬はさむいです、-30℃になります。私はスケートがとくいです。太陽島公園の冰雪大世界は、大きな氷と雪の彫刻が世界で有名です。

皆さん、ハルビンへ来てください。

ごせいちょうありがとうございました。



みなさん、こんにちは。お元気ですか、だんだん寒くなってきたよね。たくさん素晴らしい発表ですね。みなさん、楽しいですか。

初めまして、私はベトナム人のグエン・ミン・チャンです。日本に来て、もう7年です。

今日は「日本語の曖昧さと空気を読む力」についてお話ししたいと思います。

まず質問です。みなさん、相手の本当の気持ちが分からなくて困ったこと、ありませんか？

私は日本に来てから、たくさんありました(笑)。たとえば、友達に「今度カフェ行こうね!」と言われて、私は「やったー! 来週かな?」と楽しみにしていました。でも…1か月たっても連絡が来ません(笑)。そのとき「え? 今度って、いつの“今度”かな」と思いました。

後で知りました。「今度ね」は“行くつもりはないけど、やさしく言っているだけ”なんですね。

次の例です。

近所のおばあさんに「ご飯食べた?」と聞かれて「はい、食べました!」と言ったら、「じゃあ、これ食べて」と、おにぎりをくれました(笑)。「え? 食べたって言ったのに!」と思いました。でも日本では、「遠慮しないで」という意味なんですね。やさしい文化だなと思いました。

そして、コンビニで働いていたとき、お客様に「温めますか?」と聞いたら、「どっちでもいいです」と言われました。だから温めなかったら、「え? 冷たいまま?」と怒られて(笑)。

次のお客様には温めたら「いや、温めなくてよかったのに」といわれて…。「空気を読むって、難しいなあ〜!」と思いました。

すみよししょうがっこう ほうもん 「住吉小学校を訪問して」

リ・タクレー (中国)

もう一つ。コンビニでアルバイトをしていたとき、「レジ袋に入れますか？」と聞いたら、お客様が「いいです」と言いました。私は「じゃあ入れませんか」とおもっていたら、「え？入れてくれないの？」と怒られました。次のお客様が「いいですよ」と言ったので、今度は入れたら、「いや、いりません」と言われました。そのとき、「ああ、日本語は言葉より“空気”を読むことが大事なんだな」と感じました。

それから、子どもとの会話でも日本語の曖昧さを感じるがあります。ある日、息子に「今日のご飯おいしい？」と聞いたら、「うーん…まあまあかな」と言われました(笑)。

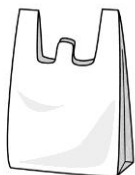
「まあまあ」って、どっちなの？おいしいの？おいしくないの？って思いました。子どもも、もう“やさしい日本語”を使っているんですね。

また別の日、「この野菜、嫌い？」と聞いたら、「うーん、嫌いじゃないけど…あんまり食べたくない」と言いました。それって、やっぱり嫌いじゃん！(笑)。でも、正直に言わないで、やわらかく言うのは日本らしいなと思いました。

私は、日本語の曖昧さには2つ理由があると思います。ひとつは、相手の気持ちを傷つけないため。もうひとつは、みんなが気持ちよく過ごせるようにするためです。つまり、日本人は「和をもってよしとなす」という考えを大切にしているんですね。だから、直接言わずにやさしく伝える文化があるんです。正直に言うと、私は今でも、まだ空気が読めないときがあります(笑)。でも、少しずつ分かってきました。これからもたくさん学んで、日本語だけでなく、日本人の心も理解できるように頑張りたいです。

みなさんも、曖昧な日本語を楽しみながら使ってみてください。間違えても大丈夫！笑いながら学べば、きっと上手になります。

ご清聴ありがとうございました。



先日、スペインの方とカナダの方と一緒に住吉小学校を訪問しました。私は子どもたちに、故郷の桂林について紹介して、きれいな山水や、地元でよく食べられている米麺(ビーフンは米麺の総称。汗系のビーフン、ラーメン、焼きそばではない。)の話をしました。子どもたちはとても元気で、たくさん質問をしてくれました。中国の世界登録遺産について聞かれたときは、少し難しく答えられないこともありましたが、今の小学生は本当いろいろなことを知っていて、すごいなと思いました。私にとっても大変貴重な経験になりました。



「帰国の挨拶」

ミロ・カロリナ (アルゼンチン)

みなさん、こんにちは！あらためて、アルゼンチンから来ました、ミロ・カロリナです。

去年の3月5日に、友だちと共に、ワーキングホリデーで来日しました。今年の3月3日に、アルゼンチンに帰ります。

サロンに来たのは、去年の5月です。私は、月曜日と水曜日のクラスに行きました。今日(水曜は2月25日)が最後の日になります。63回も授業に行きました。

私はとてもシャイな性格です。でもクラスは私を助けてくれました。とても楽しかったです。レベルアップした気がします。

とも子さん、ありがとうございます。もっと一緒に授業を受けたかったけど、とも子さんのクラスも楽しかった。私は、先生と一緒に104個の漢字を学びました。もっと勉強したいです。

ゆきさんも、ありがとうございます。夏休みのクラスに行くと良かったです。

鹿島さん、ありがとうございます。鹿島さんは、最初からずっと、私の水曜日の先生でした。

佐藤さんありがとうございます。最初のクラスで会いました。佐藤さんは、とてもやさしい人です。

サロンが日本で一番、好きなのところです。皆さんは、とてもいい人です。本当にありがとうございます。ここで、たくさんの方のことを、勉強しました。アルゼンチンに帰っても日本語の勉強を続け、JLPT試験を受けたいと思っています。

アルゼンチンに帰ったら、ほかに何をするかわかりません。翻訳を勉強するかも知れない。でも今は分からないです。

ありがとうございます。



送別会

Thank you so much. (ありがとうございます)
Muchas gracias. (ありがとうございます)

「料理班に参加して」

月曜午前ボランティア 杉 奈美

昨年6月に料理班に参加した私は、メンバーも初めて会う方がほとんどで、右も左もわからないという状況でした。

企画は、サロンの集いにいらした方々や、一般の方に世界のお菓子や料理を是非知ってもらいたい！という内容で月1回の打合せが始まりました。

6月の打合せでは、どの国の料理をつくるか、学習者さんに声をかけ、レシピを聞き、一緒にやってくれるか等の確認をしたり、準備を少しずつ進めていきました。

10月には試作を兼ねた、“世界のレシピ交流会”と題して、普段は別の曜日で活動している学習者さんとボランティアさんが集い、料理を通じて自然に会話が弾み、笑顔あふれる楽しい時間を皆さん過ごしていました。

当日のメニューは7か国8品と、とても多彩で、中国の3色水餃子、スペインのジャガイモ料理、ミャンマーのビルマセモリナケーキ、マレーシアのバナナ菓子チョコドー、台湾のピーナツバターようかん、インドネシアのハラールソーセージのリソルマヨとパンダンの団子、そしてベトナムのバインミーが並びました。



多彩なメニューの調理

サロンの集い当日は、これらの料理を味わいながら各国の食文化を共有し、作り手である学習者さんとの交流も深まり、参加者の皆さんにとっても喜んでいただけました。料理を通じて年齢や国を越えて楽しい時間を共有できたことは、私にとって大切な宝物です。

これからも多くの方々と、このような温かい時間をつくっていただければと思います。

「スリランカ 夢をのせて」

きんようよる ほんご せいし
金曜夜ボランティア 橋本 せい子



昨年10月13日、私はスリランカのコロンボに結婚式に招かれ羽田から向かった。花嫁のワルナクラスリヤ・セナリ・ニルパマ・フェルナンドは日本語学習者。

彼女は勉強熱心、日本語でパン製造技能士、2級に合格した頑張り屋さん。心躍らせ到着するもトラブルに見舞われ2人を長い時間を待たせたがやっと2人に会え、妹さんからの歓迎のバラを戴く。思わず嬉しさがこみ上げた。安堵の後、家に着くとご家族や親類の皆さんが笑顔で待っていてくれた。やっとコロンボに着いた。日本人を身近に迎えるのはとても珍しいらしい。大きな瞳の子供たちが可愛い。すぐ傍に寄り私と手あそびに夢中になる。英語を話せる小・中学生とはなんとか簡単な会話で学校の様子を聞く。親族の方には傍にいる子供にシンハラ語を訳してもらい笑顔で挨拶。なんて温かい家族、心の中で「お招きをありがとう！」の思い。そして料理が目の前に。「えっ、私だけ…？」と戸惑いながらもおもてなし料理を美味しく頂く。最後に近所に予約していただいた短期滞在アパートへ、お母様からの花束を胸に抱えて。あと3日後の10月16日は結婚式、2人に感謝である。

出会いは14歳からと話す、今もとても微笑ましい2人だ。夢は自国に自分たちのパン屋を持つ事。いま日本で技術の向上に励む毎日。夢の実現が早く叶うことを祈る。

小さな紳士淑女に導かれ宣誓に向かう2人は厳粛な面持ちで感動的。列席の方々のサリーが美しい。夜のパーティは子供から大人までみんなで花嫁花婿喜びのダンス。新郎新婦を囲み家族友人たち。みんなの喜びがいっぱいだ。なんてステキな光景。

島国のスリランカについて言えば海の幸も自然の恵みも魅力溢れる国。そして世界遺産のシーギリヤや野生動物の公園も広がる。そして優しい人々の国でもある。

わたし 私 のふるさと ～61～

わ ふるさと か ごしま さくらじま
「我が故郷 鹿児島一桜島」

げつようごぜん と き りゅういちろう
月曜午前ボランティア 登喜 龍一郎

「鹿児島県」と聞いて、皆さんは何を思い浮かべるでしょうか。温泉、島々、黒豚料理、焼酎やお茶——鹿児島には、五感をやさしく包み込む魅力が数多くあります。その中でも、私にとって何より特別なのは、鹿児島市内から錦江湾越しに望む桜島の姿です。

私は昭和27年、西鹿児島駅（現在の鹿児島中央駅）近くで生まれ育ちました。幼い頃は、西郷屋敷の竹垣の竹を拝借して空気銃砲を作ったり、武岡の小高い山に登ったりと、毎日桜島に見守られながら遊んでいました。中学校も武岡の高台にあり、登校するたび、窓の向こうには桜島がありました。褒められる日も、落ち込む日も、桜島は黙ってそこにありました。

大学進学を機に上京しましたが、悩み、立ち止まり、1年間休学して鹿児島に戻ったこともありま。そんな時、心の中で語りかけてくれたのも桜島でした。幕末から明治にかけて、日本の行く末を案じ行動した島津斉彬、西郷隆盛、大久保利通——彼らもまた、燃え上がる桜島に奮い立ち、時代を動かしていったのだ、と。「もっと自信を持って」と、背中を押され、私は再び大学へ戻る決心をしました。

その後、東京で社会人となり、退職するまでの間にいくつかの国を訪れ、美しい景色にも数多く出会いました。しかし、錦江湾にそびえる桜島に勝る風景は、ついにありませんでした。

生まれてから18年間、ほぼ毎日向き合ってきた桜島。鹿児島を離れて55年が過ぎた今も、私の心の中では、いつも変わらずそこにあります。桜島は、私にとって世界一美しい、心の故郷の山なのです。



鹿児島県桜島 画像:ChatGPT(DALL-E3)

おし かた こんな教え方しています ～ 30 ～

「日本語パートナーズ」ご存じですか？」

げつようごご かいぎき ちえこ
月曜午後ボランティア 海崎 千恵子

みなさん、日本語パートナーズをご存じですか？
どくりつぎょうせいほうじんこくさいこうりゅうききん (The Japan Foundation)
が派遣事業として行っているもので、アジアの中学校・高校等の日本語教師や生徒のパートナーとして派遣されます。私は、2024年8月～2025年6月まで、ベトナム11期として派遣されました。「日本とアジアの架け橋となる」活動について、紹介します。

派遣先はビンズオン(現在ホーチミン市に統合)。担当は中学校2校。日本語の先生は3名、受け持ち生徒は約500名でした。日本語パートナーズの主な役割は、日本語授業のサポートと文化紹介です。

日本語授業では、日本語のネイティブスピーカーとしての役割を意識し、主に、発音・会話練習、文字のチェック、漢字の板書を行いました。文化紹介の授業では、生徒自身が手を動かし、日本文化を体感できることを心がけ、折り紙、切り絵、お守り、絵馬づくり、そうめん作りなど18項目の文化紹介を行いました。切り絵では、もみじの作品を作りました。ベトナム南部では雨季と乾季の二季のみ、秋はありません。日本の秋を想像し、もみじの切り絵の作品を作り、完成後は教室に展示、授業後も日本の秋を感じられるようにしました。茶道では、「おもてなしのこころ」、「一期一会」について伝え、それから、抹茶の香りを楽しみ、実際に茶筌で抹茶を点てる。五感で感じてもらいました。

ベトナムの中学校の授業は45分です。授業内に、生徒に日本文化の「心」を伝えられるのかと思うこともありましたが、生徒たちが日本の文化に触れ、笑顔になる姿を励みに、準備、タイムマネジメントをしっかりと行い、実施しました。「まずはやってみる！体験してみる！」が重要だと思っています。

もみじの切り絵の何枚かは、2025年秋、デザインフェスタギャラリー原宿で、「ベトナム発 日本の

あき 秋」として展示しました。世界12か国+日本の方々、約300名がいらっしゃいました。「ベトナムで日本語を学び、日本の秋を想像し、もみじの切り絵を作った生徒たち」に、思いを馳せていただけたかと思えます。ベトナムの学校行事や生活など、お伝えしたいことはまだまだあります。もし関心がおありでしたら、ぜひお声がけください！

しん 新ボラさん こんにちば

きょうみ かんしん たいせつ 「興味や関心が大切」

きんようごご しんまち かずゆき
金曜午後ボランティア 新町 和之

大学を卒業し銀行に就職しました。その後、地方公務員へと転職しましたが、「若気の至り」とは恐ろしいもので、その職も辞め、叔母に誘われワーキングホリデーでオーストラリアへ行き、働きながら約8ヶ月過ごしました。

当時感じたことは、海外の方は、東京や京都などの都市名やお寿司などの料理名は知っているが、総じて日本の事は詳しくは知らないという印象でした。帰国後、「東京を知らない」と日本を語れない」と思い、東京で就職をしました。が、ゲーム会社や半導体商社などの経理職でだったので、意気込みとは裏腹に、特に外国人に日本を伝えるような機会もない生活を送りました。

現在の仕事は、市内で整体院を営んでおり、独立して丸6年を迎えました。この仕事は施術に対して人から直接感謝される仕事なので、やり甲斐を感じています。趣味は、音楽全般が好きで、大学から始めた合唱を今も続けており、府中市の合唱団に所属しています。

仕事と趣味は私にとって、興味や関心が長く続き、より深く学習したり体験しようとする意識が高いものです。日本語を教える立場として、学習者が興味や関心を持ち続けられるような情報提供を心掛けたいと思います。

「実のある時間を」

金曜夜ボランティア 坂井 泰江

5月より日本語教授法研修に参加し、9月からボランティアとして金曜夜の学習会に参加しています。

生まれてから高校卒業までは大分県で育ち、大学は大阪の枚方市(大阪でもかなり京都寄り)。そのまま大阪で就職し、結婚してから府中市に来て20余年になります。

関西弁(大阪・京都・神戸・播磨地方・和歌山それぞれ少しずつ違うのですが)、そして大学同級生の影響で三河弁も少し話せます。

故郷の大分では父が独居しているため、月に一度様子見(話し相手)に帰省しています。その週は学習会をお休みさせていただきます。

さて私は、まだ国際交流サロンが北庁舎にあったところに、1日だけ日本語教授法研修に参加しています。確かオリエンテーションのような内容だったと思います。やる気に溢れていたのですが・・・2回目の研修を迎える前に柴犬の子犬を飼い始め、「この子を残して3時間近く家を空けることは難しい」と考え、すぐにお電話で連絡し一度辞退させていただきました。その際お電話で対応下さった方もびっくりされたと思います。大変ご迷惑をおかけしました。その柴犬も3歳になり今では長い時で6時間くらいは留守番可能になりました。この夏は久しぶりに家族で宿泊旅行に出かけましたが、信頼できるペットホテルを見つけ、初めて預かってもらいました。

話は戻り・・・4月ごろ広報府中でお知らせを見かけ、日本語教授法研修に再び応募させていただきました。

山田先生、事務局の方々、そして一緒に受講している方々のあたたかく楽しい雰囲気の中で学ぶことができてことに感謝です。

まずは動詞形容詞の活用などすべて忘れてしまっている自分にびっくり(がっかり)したところから始まりました。ですが、重要なことは何度か繰り返す

教えて下さるので大変助かっています。

事前の見学では、ご自身のスタイルを確立されていてそれでいて柔軟に楽しく日本語を教えている先輩ボランティアさんに接し、私の場合は少し時間がかかると思いますが、学習者さんと自分にとって実のある時間を作り出せるボランティアになれると良いなと思っています。

どうぞよろしく願いいたします。

学習会だより



「水曜学習部会のお楽しみ会」

水曜午後ボランティア 佐藤 千里

2025年最後の水曜学習部会で、ブルメック・マキシムさんと「お楽しみ会」をしました。

今回私は「これまであまり交流がなかった人達と、もっと話をしたい!」というテーマで、3つのプランを考えました。

一つ目は「猛獣狩り」。リーダーの掛け声に続けて全員がそれを復唱し、最後にリーダーが言った「動物」の名前の音数と同じ人数のグループを素早く作る、というゲームです。

「ゴリラ」の3人から始めて、最後は「コモドオオトカゲ」と8人のグループを作りました。

二つ目はみんな大好き「お金持ちゲーム」。1人5枚ずつ、お金に見立てたカードを持って、誰かとジャンケンをします。勝てば相手からカードを1枚貰え、負ければ1枚渡す。これを時間内に繰り返し、カードを増やしていきます。ポイントは、ジャンケンをする前に「今日は、私の名前は〇〇です。」と自己紹介をすること。「顔は知っているけど名前は知らない」という人に、積極的に挨拶をしました。

三つ目は「二択クイズ」。意外と知られていない「過去最も多い今年の漢字」や「最も画数の多い漢字」「東京都のマーク」など、日本や東京に関する

る二者択一の面白い問題を、マキシムさんが作りま
した。

皆さん童心に帰って大騒ぎ！笑い声が溢れる、リ
ラックスした楽しい交流の時間になりました。



「おしゃべりタイムの報告」

げつよう ごご 月曜午後ボランティア 傳田 英男

昨年きねんの12月がつから月つきに1回かい、希望きぼうする学習者がくしゅうしゃを対象たいしょう
に学習会がくしゅうかいの最後さいごの30分間ぶんかんを「おしゃべりタイム」と
して学習者がくしゅうしゃとボランティア4～6人にんで一つひとつのグルー
プを作り、グループ内ないでの自由じゆうな会話かいわを行おこなっていま
す。

まだ2回かい行おこなった段階だんかいですが、参加者さんかの意見いけん、感想かんそう
をまとめました。今いまのところ学習会がくしゅうかいに参加さんかした
学習者がくしゅうしゃは全員参加ぜんいんさんかで、おしゃべりタイムを「良よかつ
た、楽したのしかった、続つづけてほしい」と肯定的な意見いけんで
した。具体的ぐたいてきには次つぎのようなコメントコメントがありました。

「クラスメートと話はなしができて、知しり合あいになれた」
「ストレスストレスのない会話かいわができた」
「たくさん会話かいわの練習れんしゅうができてとても勉強べんきょうになっ
た」

「自分じぶんの知しらない国くにの事ことが理解りかいできた」
「違ちがう国くにの人ひととのコミュニケーションコミュニケーションができて
勉強べんきょうになった」

「楽したのしかった、いろんひとな人ひとと話はなしができるのがよい」
「新あたらしい人ひとと話はなしをして新あたらしい言葉ことばを知しり、新あたらしい
地名ちめいを覚おぼえた」

今後こんご続つづけるにあたり考こう慮りよして欲ほしいという下か記きの
ような意見いけんもありました。

「学習者がくしゅうしゃの日本語にほんごのレベルを合あわせたグループグループにな
るとより会話かいわがはずむと思おもう」(N2レベルレベルの学習者がくしゅう
者しゃ)

「話題わだいを予あらかじめ決きめてもらい知しっているとより深いふか
会話かいわができると思おもう」

一緒いっしょに参加さんかしたボランティアからは、「学習者がくしゅうしゃが楽たの
しそだった」、「いろんいろんな学習者がくしゅうしゃを知しることができて

よかった」、「ボランティア同士の交流どうしこうりゅうを持つことが
できた」、「普段ふだんと違ちがった日本語にほんご学習方法がくしゅうほうほうとして良よ
い」、「しばらく続つづけてみるのがよい」との意見いけんがあ
りました。



おしゃべりタイム

「編集後記」

この1月がつにサロン創そう立りつ30周年しゅうねんの記念行事きねんぎょうじが開催かいさい
され一つひとつの節目ふしめを超こえ、4月がつからは31年目ねんめを迎むかえま
す。新年度しんねんどの第1回目だいいの実行委員会かいぎが4月8日がつよう(水)
に行おこなわれますが、委員いいんのほぼ半数はんすうが新あたらしい顔ぶれに
なります。新年度しんねんどの実行委員じつこういいんは、5月号がつごうで紹しょう介かいする
予定よていです。

2015年ねん以降いこう、柏崎先生かしわぎせんせいと山田先生やまだせんせいの教授法きょうじゅほう研けん修しゅう
を受講じゅこうされた方々かたがたが次々つぎつぎと学習会がくしゅうかいで活動かつどうをはじめら
れ、今いまではボランティア全ぜん体たいの8割わり近くちかくを占しめるよ
うになりました。この10年ねんで世代交代せだいこうたいが進すすみつつあ
るサロンに、柏崎かしわぎ・山田やまだ両先生りょうせんせいの薫陶くんとうを受うけたボラ
ンティアの方々かたがたがこの先さき、新風しんふうを吹ふき込んでくれる
ことを願ねがっています。(和田わだ)



【創刊】 1997年11月
【編集】 編集長：和田泰弘
会報部会：末田・和田・岩城・今井
【事務局】 電話：042-352-4178
サロンのホームページ

<https://fuchukokusai.com/>

